

令和5年度 姫路市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

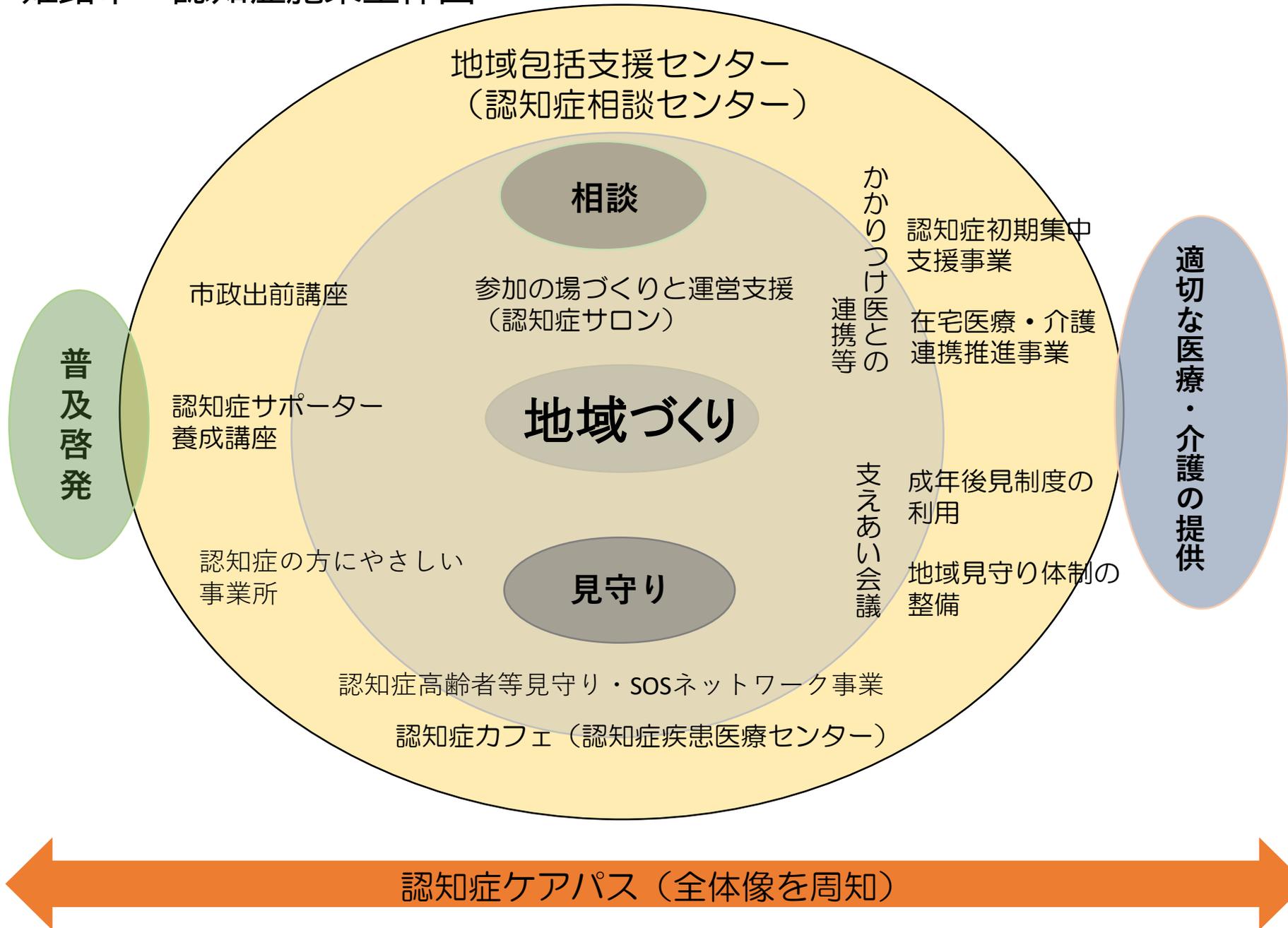
- 1 認知症地域支援推進員： 7名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症の人とその家族に対し、理解あるまちづくりの推進

- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- ・ 認知症に対する住民理解の啓発
- ・ 認知症の人の支援等に関わる医療介護の連携
- ・ 認知症ケアパスの作成、運営
- ・ 地域包括支援センターの支援

報告者氏名： 姫路市地域包括支援課 長嶋 益己・中安 尚子

姫路市 認知症施策全体図



令和5年度からの取り組み (チームオレンジに向けた取り組み)

目指すもの

認知症がある人もそうでない人も安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して、

- ① 普段の地域活動の中で把握した認知症の人や家族の身近な困りごとを把握し、認知症の人や家族の意向を施策に反映できるようにする。
- ② 認知症の人や家族に対する、介護負担の軽減や病状の理解につなげる。

★課題

- ・ 認知症の人と家族が、安心して定期的集える場の設置
- ・ 認知症の人や家族と支援者をつなぐ仕組みを作る

★対応策

認知症サポーターを活用した「チームオレンジ」の取り組みを推進することにより、上記の課題を解決する仕組みを作る。

標題 姫路市における認知症サポーターステップアップ講座の取り組み

【目的】 チームオレンジ構築に向け、講座やグループワークを通じ、現状及び認知症サポーターとして可能な活動を共有する

【対象】 認知症サポーター養成講座をうけ、地域活動登録申請書を提出した人
(393名に案内送付)

【開催日時】 令和6年2月20日（火） 120分

【参加者数】 21名（申込30名）

姫路市における認知症サポーターステップアップ講座の取り組み

- 【内容】
- ・趣旨説明
 - ・認知症を取り巻く現状
 - ・認知症観の転換について
 - ・本人の声（DVD：県希望大使インタビュー）
 - ・家族の立場から（家族会代表からの講話）
 - ・グループワーク

サポーターとして認知症支援のために必要と考えること・できること等意見を出し合い、チームオレンジに向けての活動を検討する

・最後に・・・

認知症の人や家族と支援者をつなぐ仕組みができ、安心して暮らし続けることができるよう、チームオレンジにむけて取り組んでいます。

サポーター自身の思いや活動について共有し、次のステップにつなげる機会としてステップアップ講座を実施しました。今後も、より多くの本人、家族、支援者等の声を共有し、つないでいけるよう取り組みたいと考えます。